

財政制度等審議会 財政制度分科会
海外調査の実施について

調査の概要

趣 旨

- 諸外国の財政制度や背景事情等を実地で調査し、我が国の今後の財政運営に活かす観点から、隔年で実施。
- 調査結果は財政制度分科会に報告。その議論に供し、春の建議にも反映いただく。

調査手法

- 各国の財政当局、経済・財政関連のシンクタンク、国際機関等を訪問し、実務者・有識者からヒアリングを行う。
- 4グループに分かれ、1グループにつき 委員2名の体制で調査を行う。

スケジュール

- 2月～3月 海外調査の実施
- 3月下旬～4月 財政制度分科会への報告

【参考】前回実績(平成29年度)

- ・2/5～9、2/12～16 調査実施
- ・3/30 財政制度分科会への報告

調査予定国

1. デンマーク・イギリス



- 出張者:堀真奈美委員、宮島香澄委員
- 日 程:令和2年2月10日～2月14日

2. ドイツ、EU(ベルギー)



- 出張者:竹中ナミ委員、田近栄治委員
- 日 程:令和2年2月17日～2月21日

3. フランス、スイス



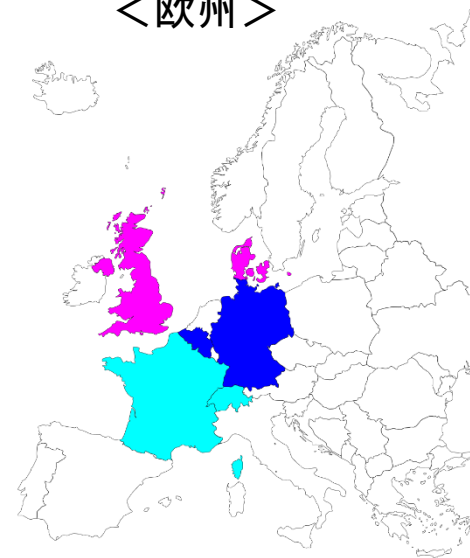
- 出張者:権丈英子委員、末澤豪謙委員
- 日 程:令和2年3月9日～13日

4. 米・カナダ



- 出張者:河村小百合委員、横田響子委員
- 日 程:令和2年3月9日～13日

<欧州>



<北米>



主な調査テーマ

1. 現在の低金利環境下における財政運営の在り方

- ・ 現在の財政運営(基礎的事項)
 - － 経済・財政の現状と今後の見通し、財政運営目標、当面の一般的財政課題
- ・ 低金利環境下における財政運営
 - － 財政健全化のためのモメンタムの持続
 - － 低金利環境を活用した歳出政策

2. 将来の財政の姿をよりよく展望するための長期推計の在り方

- ・ 長期推計の方法、前提
 - － 推計に当たっての前提の設定、推計モデルについて、推計主体
- ・ 長期推計の活用等
 - － 公表の在り方、活用方法

3. 財政運営について国民等の理解を促進するための取組

- ・ 国民、議会、市場、有識者等とのコミュニケーション
 - － コミュニケーションの在り方(主体、対象、手法、頻度等)
- ・ 将来世代への財政教育の在り方(主体、対象、手法、頻度等)
- ・ 高齢化社会における給付と負担のバランスの必要性に関するコミュニケーション